

獨楽庵便り

2026 年夏号

向夏の候 いかがお過ごしでしょうか。

獨楽庵では、4月に『炉の名残の茶飯釜』と題しまして、第4回倶楽茶会を開催いたしました。相変わらず亭主一人でのおもてなしでありましたので、お目まだるい事多々ありましたことと存じます。それにも関わらず連日満席のお客様に来庵頂き和やかなひと時を過ごすことができました。皆様のご厚意に改めて御礼申し上げます。

倶楽茶会終了後は、炉の灰を取り出し風炉の準備を進め、現在は風炉の設えで皆様をお迎えしております。これから夏本番を迎えますが、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

令和八年水無月

獨楽庵の日常



初座(懷石)と後座(喫茶)で茶室を移動することで茶事に変化をつけている「獨楽庵茶会」ですが、酷暑の期間はそうも言ってられそうにありません。それまでの間は工夫しながら、小間での喫茶を続けたいと思っています。

空調などない昔は、茶は朝にするものと考えられていたという話を伺いました。獨楽庵茶会の席入時刻を早めるのも夏を乗り切る一つの手段かもしれませんね。会員の皆様の声を伺いながら暑さ対策をしていきたいと思っています。

桑遊会

実践経験を積みながら茶事上手を目指す同好会「桑遊会(そうゆうかい)」ですが、昨年10月の開始以来、順調に回を重ね、第一期メンバー全員が亭主・半東・正客・詰客の各お役を2回ずつ経験しました。一回目は手探状態で改善点も多く指摘しあいましたが、2回目では、それぞれの個性を出しつつ危なげなく茶事を進めることができていたようです。8月は休会。7月、9月は特別回としてオブザーバー役の獨楽庵亭主が亭主役を勤めることになりました。差し当たり、7月は朝会。9月は夕ざりの趣向に挑戦してみようと考えています。

桑遊会は茶事教室ではありません。懷石料理教室でもありません。メンバーが輪番でお役を勤めながら、学びあう同好会です。今日、茶事というと一汁三菜に加え、強肴、預鉢、八寸と豪華な懷石が当たり前になっており、初心者が気軽に茶事を催そうという気になれなくなっています。獨楽庵ではその点を考慮し、懷石には「一汁三菜」を提唱しています。「獨楽庵茶会」もそれに則り「一汁三菜」の懷石を基本にしています。



桑遊会でも「一汁三菜」を勧めてきましたが、仕上げとなる3回目は、自由な発想で茶事を組み立てて頂こうと考えています。

現在、桑遊会に興味を持たれている方も少なくなく、メンバーが4名揃えば第二期を発足させようと思います。開催は毎月一回を基本とし、開催日はメンバーで話し合い無理のない日程を組みたいと思っています。

詳しくは www.dokurakuan.com/soyukai をご覧ください。

第4回 倶楽茶会 | 炉の名残の茶飯釜

去る3月26日から4月4日まで、第4回倶楽茶会(くらくちゃかい)として茶飯釜の茶事を開催しました。「茶飯釜」とは、一つの釜で飯を炊き、湯を沸かして茶を喫する「侘び」の茶事です。茶飯釜は、

不時の茶の一種として発生したものと言われています。不時の茶とは、約束なしにお客様がお見えになった時の茶の湯です。約束なしですから、懷石は有り合わせの食材をみつくろってお出しするしかないのです。せめてご飯は茶室の囲炉裏で炊いて、ご飯の炊き上がりを五感で楽しもうという趣向です。

亭主一人でのおもてなしのため、一日一席5名様と限らせて頂きましたが、お陰様で全日満席のお出ましを頂きました。日によっては定員以上のお客様をお招きしたため、不手際もあったことと思いますが、多くのお客様に「来年も参加したい」とご好評を頂きました。来年も、同時期に開催したいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。



外国人の研修を受け入れました

茶で交流のある方からの依頼でベトナムからの調査団の研修を受け入れました。約2時間のプログラムでは、前半を「日本文化の根底にあるコンセプト」として、日本人の自然に対する感覚、八百万の神々、空間に対する感覚（結界としての扇子）、清めなどについて話をした後、実際に和室に座り扇子を使った挨拶などを学びました。



後半は、小間に移動して濃茶を喫しました。外国人の体験プログラムでは薄茶が一般的なようですがあえて濃茶にしました。それも回し飲みで喫してもらいましたが、これは意外に好評でした。濃茶を三口飲む間に味が変わって、最後は甘

味も感じたとのこと。鋭敏な味覚にこちらが驚かされました。普段の獨楽庵のように電灯を消して蠟燭の灯りだけの暗い茶室は、無言で緊張を強い、感覚を研ぎ澄ますことにつながったようです。

まとめのセッションでは、次々に鋭い質問が投げかけられ、亭主はたじたじでしたが、茶の湯を見つめ直す良い機会だったと思います。

今回は、通訳なしに全編英語でプログラムを提供しました。獨楽庵の特徴をいかした、海外への茶道文化発信の一つとして今後も研修等を受け入れていきたいと思っています。詳しくは、お問合せください。

秋の茶会情報

獨楽庵では、今秋から冬にかけて大寄せ茶会や講演会を企画してまいります。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせいたしますので、宜しくお願い致します。

以下に紹介いたします外部の茶会は、獨楽庵亭主が席主を勤めるものではありませんが、運営に携わっているものです。茶券のお取次ができますのでご希望の方はお申し出くださいませ。

●茶道宗偏流靖国神社家元献茶式

日時 9月5日（土）午前10時より献茶式

場所 東京九段・靖国神社

濃茶席（清心亭）、立礼席（靖国会館）

点心席（靖国会館）

茶券 8,000 円

●名月の会

日時 9月20日（日）正午より

場所 江戸川区・行船公園内源心庵

野点、薄茶2席、立礼席

茶券 3,500 円（点心なし）

●さやま大茶会

日時 11月7日（日）午前10時より

場所 埼玉県営稻荷山公園

（西武池袋線・稻荷山公園駅下車）

茶券 一席 700 円

野点席が10席以上開かれる大茶会です

ホームページをご活用ください

獨楽庵ホームページ（www.dokurakuan.com）では、最新情報に加え、獨楽庵茶会のお申し込み、月釜/倶楽茶会のお申し込みが可能です。

桑心会、桑遊会などの同好会・勉強会、講演会などの案内も掲載しております。